

乾議員

温泉センター水芭蕉に露天風呂を

問 水芭蕉が大規模改修され、利用者に変喜ばれている。一方、要望が強いのは露天風呂の新設。今日、この種の風呂には露天風呂がつきものになった。

答 露天風呂設置を何とか実現したいが、まずは財源が課題になる。そこで、ここ10年間の水芭蕉の収支を調べてみると、ありがたいことに、ここ5年間で収支は大幅に改善され、実績及び推計ではプラスに転じ、市の持ち出しはなくなっ

た。このため、水芭蕉だけの過去の実績の収支からいえば計画的に露天風呂が作れる財源を十分確保できると考える。他市の例でも露天風呂を新設することによって、利用者は確実に増えている。また経営を引き受けていただく指定管理者にとっても、やりがいや経営意欲の向上につながるものと期待できる。所見を伺う。

答 温泉センター水芭蕉はオープンから19年近く経過し、その間、新しい設備を備えた同種の温泉施設が周辺に数多く建設され、施設の更なる改良が望まれていることも

その他の質問

- ・今冬の除雪費の収支について
- ・犬の飼い主のマナーについて
- ・2巡目福井国体開催への市の対応について

事実である。

露天風呂の新設も、入浴客のニーズが多様化する中で、その一つとして考えられるものと認識しているが、湯量の確保や設備投資費等の問題もあるため、今後類似施設の状況等を調査し、費用対効果を勘案し研究していきたい。

いずれにしても、指定管理者と連携し、更なるサービスの向上に努め、市民福祉の増大に貢献できる施設となるよう努力していく。



北川議員

介護予防について

問 当市においては高齢化率が2011年度で30%に達すると推計される。今後、高齢者の介護をどう支えていくか重要な問題。特に介護予防は急務である。そこで2点について伺う。

- ① 「閉じこもり」を防ぐ「ふれあいサロン」の拡大について。
- ② 3年間介護保険を利用しなかったり、介護ボランティアに参加した高齢者への介護保険料・サービス利用料の負担軽減システムの導入について。

答 ① ふれあいサロンは、地域の役員の方々の努力により年々回数も増え、集落センターなど細かく実施するようになってきている。また、シルバー人材センターでは、高齢者の生きがい作りにつながるシルバーサロンを実施している。

元気な団塊世代の方々が、このような事業に参加し、自らの介護予防のためにも活躍していただけることを期待したい。② 他市の状況を見守りながら研究していきたい。

その他の質問

- ・介護について
- ・がん対策について
- ・読書について

子宮頸がんワクチンの公費助成について

問 子宮頸がんはヒトパピローマウイルスというウイルス感染が原因で、ワクチン接種と検診で100%予防できる「がん」である。ワクチン接種には3回で4万円以上かかり、経済的負担が大きい。そこでワクチン接種への公費助成の考えを伺う。

答 公費助成については、国等の取り組みを注視すると共に、関係機関とも連携を図りながら判断していきたい。

いずれにしても、他のがん検診と同様、子宮頸がん検診も強力に支援しているので、更なる受診拡大を図っていく。

